

人権について考えよう⑨ 「ヤングケアラー」

市民の皆さんと一緒に人権問題を考えるため、シリーズで掲載しています。

気付いてください

家族の世話や見守りをするために、勉強する時間が削られたり、自分のやりたいことが十分にできなかったりする子どもたちのことを「ヤングケアラー」といいます。

あなたの周りにこんな子どもはいませんか？



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼い子どもたちの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : izumi shiga

ヤングケアラーを巡っては、支援が必要な状態であっても、その生活が当たり前で自分では「ヤングケアラーである」という認識がないことで、支援につながりにくい状況があります。しかし、将来を担う子どもたちは、あらゆる場面で「子どもの権利」が尊重され、保障されなければなりません。

市では、その子どもにとってどのような支援が望ましいのか、一緒に考えていきます。

自分のこと、家族のこと、身近な周囲のことなど気になることがありましたら、気軽に相談してください。

問合せ・相談窓口

すこやかなくらし包括支援センター（福祉交流プラザ内 ☎025-526-5623、✉sukoyaka@city.joetsu.lg.jp）

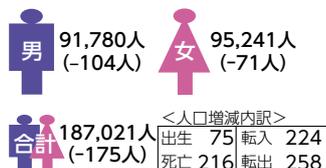
広報対話課から

☎025-526-5111

●「広報上越3月号」は、2月21日㊤・22日㊦に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市の人口・世帯数

令和4.1.1現在。（ ）は前月との比較



表紙のことは：冬本番！上越の冬を楽しもう！

今回の取材では、キューピットバレイの海まで見渡せる眺望の良さとふわふわのパウダースノーに感動し、アイスアリーナでは、ここを拠点に真剣な眼差しで競技に取り組む皆さんの迫力に圧倒されるなど、新たな発見や気づきがいくつもありません。改めて、このまちの地域資源の豊かさを実感する機会となりました。

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

No.1121

令和4年1月25日発行

市の取り組みやイベント情報などを発信中！



LINE



Twitter

編集 943集 8601 新潟県上越市木田1-1-3 ☎025-526-5111 有線(JHK) ☎5111